事業計画書目次

 [政策局]
 2款1項2目
 (単位:千円)

LIMA	不问」		<u></u>			\ + 1	<u>/</u> · []/	
計画書頁	事業名	令和5	年度	令和∠	4年度	増△減(5	5-4)	新 規 •
音貝	J 711 <u> </u>	事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	拡充
38	統計情報事業	1,775	1,767	1,290	1,282	485	485	
39	市町村統計事務推進 事業	1,366	0	1,390	0	△ 24	0	
40	統計調査員確保対策 事業	250	Ο	250	О	0	0	
41	学校基本調査事業	340	0	340	0	0	0	
42	住宅•土地統計調査 事業	169,176	0	0	О	169,176	0	
43	漁業センサス事業	1,323	Ο	0	Ο	1,323	0	
44	国勢調査第2次試験 調査事業	1,915	0	0	Ο	1,915	0	
-	就業構造基本調査事 業	0	Ο	32,225	Ο	△ 32,225	О	
-	住宅•土地統計調查 単位区設定事業	0	Ο	19,374	Ο	△ 19,374	0	
						0	0	
						0	Ο	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	Ο	
						0	0	
						0	Ο	
	計	176,145	1,767	54,869	1,282	121,276	485	

事業局課	政策 局		彩	計情報	报 課	新規拉	· 本		新規	□ 拡充	ž	事業評価	T 主 釆 早		-
事業区分	□ 施設等整備費	■ そ	の他			A) A) E 1/2	·)L		791 /9°C	□ 1/4/l	L	尹 未叮!!			
歳出予算科目	一般 会計	2	款	1	項	2	目	枝	番号	3	8	前年度事	事業名称	統計情	報事業
事業名称	統計	情報事	業				政策	番号	99	政策指標	-	施策番号	99	施策指標	1

(単位・千田)

							(井原・111)
			財源	一般財源等			
区 分	金額	国	県	諸収入		市債	一般財源
令和5年度	1,775	0	0	8		0	1, 767
補助事業							0
単独事業							0
令和4年度	1, 290	0	0	8		0	1, 282
増△減	485	0	0	0	0	0	485

	歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予	事業費	1, 996	1, 595	1, 327
算	市債+一般財源	1, 958	1, 557	1, 319
決	事業費	2, 290	852	704
算	市債+一般財源	2, 268	778	673

明治36年度

令和6年度	令和7年度	令和8年度
1, 775	1, 775	1, 775
1, 767	1, 767	1, 767

事業開始年度

各種統計情報を発信するとともに統計情報の利用促進を図る。 本市の経済情勢を明らかにすることを目的として市民経済計算の推計を行う。 9都県市と連携した経済計算の研究及び大都市間並びに神奈川県市部間での統計調査に関する情報共有・情報交換を行い、

課題解決に向けた県・国への要望行動を行う。

根拠法令·方針決裁等

事業概要

①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)

・局・区役所の統計に関する事務の円滑な執行

- ・横浜市統計情報ボータルの運営ほか、メールマガジン配信による統計情報の提供 ・横浜市の市民経済計算の推計・公表、報告会の実施 ・ 9 都県市経済計算推計研究会の活動

- ・大都市統計協議会の活動 ・神奈川県市部統計事務研究会の活動

根拠・データ等

- ・横浜市統計情報ポータルページ数

- ・横浜市統計情報ポータルページ数 2年度:11,506件 3年度:12,174件 4年度(見込):12,900件 5年度(見込):13,400件 ・横浜市統計情報ポータルアクセス数 2年度:1,756,024件 3年度:1,720,511件 4年度(見込):1,800,000件 5年度(見込):1,800,000件 ・横浜市市民経済計算報告書発行部数 2年度:120部 3年度:0部 4年度:120部(見込) 5年度:120部(見込) ・大都市統計比較年表発行部数 2年度:50部 3年度:50部 4年度:50部(見込) 5年度:50部(見込)

事業指標		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
横浜市統計情	単位	目標	11, 506	12, 100	12, 900	13, 400	13, 900	14, 400	14, 900
報ポータル ページ数	件	実績	11, 506	12, 174					
横浜市統計情	単位	目標	1, 756, 024	1, 800, 000	1,800,000	1, 800, 000	1, 800, 000	1, 800, 000	1,800,000
報ポータルア クセス数	件	実績	1, 756, 024	1, 720, 511					

事業スケジュール

随時 横浜市統計情報ポータル更新

メールマガジン配信 (毎月1回)

		細事業名称	5年度	4年度	差引 (増減)	増減説明
	1	統計情報事務	1, 461	1,082	379	報告書(5年毎に刊行) 作成による増
細事業 (事業内訳)		横浜市市民経済計算	114	114	0	-
	3	協議会・研究会活動	200	94	106	旅費の増
		細事業合計	1, 775	1, 290	485	

	課長	係長	係
本資料は、公正・適正に作成しました。	入江 佳久	中村 敬一郎	仁科 加奈美

事業局課	政策 局		紛	注計情報	報 課	新規拉	· 去	_ ;	新規	□ 拡充	5	事業評価	T 主 采 早		
事業区分	□ 施設等整備費	■ そ	の他			利 別1	\)L	_ ,	材	☐ 1/4/I	Li	尹禾叮!	川百田ヶ		
歳出予算科目	一般 会計	2	款	1	項	2	目	枝	番号	3	9	前年度事	事業名称	市町村統計等	事務推進事業
事業名称	市町村統計事務推進事業					政策	番号	99	政策指標	Í	施策番号	99	施策指標	-	

(単位:千円)

								(十匹・111)
				財源	一般財源等			
	区 分	金額	国	県	諸収入		市債	一般財源
	令和5年度	1, 366	0	1, 366	0		0	0
	補助事業							0
	単独事業							0
	令和4年度	1, 390	0	1, 390	0		0	0
Г	増△減	△ 24	0	△ 24	0	0	0	0

	歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予	事業費	1, 758	1, 390	1, 390
算	市債+一般財源	0	0	0
決	事業費	1, 151	273	790
算	市債+一般財源	0	0	0

令和6年度		令和7年度	令和8年度
	1, 366	1, 366	1, 366
	0	0	0

	111 頁 1 別別の	l .		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>							
	事業概要				行うため、統計調3 る職員の基礎的・9				の資質向」	ニを図る。			
	事業開始年度	ŧ	財	召和26年度									
,	根拠法令・方針決		神奈川県統計調査条例、神奈川県市町村統計事務諸費交付金取扱要綱、神奈川県統計調査員登録制度要綱、横浜市常任統計調査員制度要綱										
 ①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性) ・統計調査員事務研修会の実施による調査員の資質向上 ・調査員の研鑽を目的とした「横浜市統計調査員だより」の発行 ・統計思想の普及に向けた各種報告書等の刊行 ・統計従事職員の資質向上のための研修会の実施 ・県単独統計調査事業の推進 													
	根拠・データ [:]	等	令和4 令和5	年4月1日現在 年4月1日現在 年4月1日現在 統計書発行部数		30部(見込) 5年 _月	隻:80部(見込)						
	事業指標		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6 年	连度	7年度	8年度		
	統計調査員事	単位	目標	6	6	6		6	6	6	6		
	務研修会	件	実績	1	6								
	横浜市統計書	単位	目標	80	80	80		80	80	80	80		
	発行	部	実績	80	80								
	事業スケジュー	-ル			令和5年5月 0 令和6年1								

	細事業名称	5年度	4年度	差引 (増減)	増減説明
細事業 (事業内訳)	① 市町村統計事務推進事業	1, 366	1, 390	▲ 24	報告書作成数の減少によ る減
	細事業合計	1, 366	1, 390	▲ 24	

	課長	係長	係
本資料は、公正・適正に作成しました。	入江 佳久	中村 敬一郎	仁科 加奈美

事業局課	政策 局		彩	計情報	報 課	新規拉	· 本·		新規	□拡充	ž	事業評価	T 主 釆 早		
事業区分	□ 施設等整備費	■ そ	の他			A) A) E 1/2	3.7L		75/1 /5/L	U 1/4/1	<u> </u>	尹 未叮!!			
歳出予算科目	一般 会計	2	款	1	項	2	目	枝	番号	4	0	前年度事	事業名称	統計調查員確	[保対策事業
事業名称	統計調查員確保対策事業					政策	番号	99	政策指標	I	施策番号	99	施策指標	1	

(単位:千円)

							(十四・111)		
			財源	京 内 訳		一般財源等			
区 分	金額	国	県	諸収入		市債	一般財源		
令和5年度	250	0	250	0		0	0		
補助事業							0		
単独事業							0		
令和4年度	250	0	250	0		0	0		
増△減	0	0	0	0	0	0	0		

	歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予	事業費	270	240	250
算	市債+一般財源	0	0	0
決	事業費	190	186	50
算	市債+一般財源	0	0	0

令和6年度	令和7年度	令和8年度
250	250	250
0	0	0

総務省の統計調査員確保対策事業(都道府県が委託されて実施)の一環である登録調査員に対する研修を、本市が受託して実施す 事業概要 事業開始年度 昭和41年度 統計調査員確保対策事業委託要綱及び統計調査員確保対策事業実施要領(総務省) 根拠法令 • 方針決裁等 基幹統計調查等統計調查費市町村交付金取扱要綱 (神奈川県) 各種統計調査の実施にあたり必要となる統計調査員を容易に確保するために、あらかじめ登録している県・市登録調査員の資質向上 合種が計調査の実施にあたり必要となる統計調査員を容易に確保するために、あらかしめ登録している県・市登録調査員の賃貸同上を目的とする。 実施方法としては、18区役所を6プロックに分けて、調査員同士の意見交換会や講師による公演を開催し、集合研修を実施する。調査員にとって調査活動における事故防止や円滑な調査方法について学ぶ機会となる。 なお、本事業費は、研修会経費のうち、講師謝金に充当する。 ①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性) 登録調査員数 ・ 令和 3 年 4 月 1 日現在 ・ 令和 4 年 4 月 1 日現在 815人 根拠・データ等 807人 · 令和5年4月1日現在(見込) 800人 事業指標 年度 2年度 3年度 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 単位 目標 6 6 6 6 6 6 6 統計調査員 事務研修会 件 実績 6 1 事業スケジュール 統計調查員事務研修会開催(令和5年5月~令和6年3月)

	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
細事業 (事業内訳)	① 統計調查員確保対策事業	250	250	0	-
	細事業合計	250	250	0	

	課長	係長	係
本資料は、公正・適正に作成しました。	入江 佳久	中村 敬一郎	依田 真莉奈

事業局課	政策 局		粉	忙計情報	報 課	新規拉	· 去	_ ;	新規	□ 拡充	<u> </u>	事業評価	T 主 采 早		
事業区分	□ 施設等整備費	■ そ	の他			利 別1	\)L	_ ,	树丛	☐ 1/4/I	Li	尹禾叮!	川百田ヶ		
歳出予算科目	一般 会計	2	款	1	項	2	目	枝	番号	4	1	前年度事	事業名称	学校基本	調査事業
事業名称	学校基	基本調查事業					政策	番号	99	政策指標	П	施策番号	99	施策指標	-

(単位:千円)

							(井匠・111)
			財源			一般具	財源等
区 分	金額	国	県	諸収入		市債	一般財源
令和5年度	340	0	340	0		0	0
補助事業							0
単独事業							0
令和4年度	340	0	340	0		0	0
増△減	0	0	0	0	0	0	0

	歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予	事業費	300	300	300
算	市債+一般財源	0	0	0
決	事業費	286	282	275
算	市債+一般財源	0	0	0

令和6年度	令和7年度	令和8年度
340	340	340
0	0	0

学校基本調査は、文部科学省所管により実施する基幹統計調査で、全ての学校を対象に児童(生徒)数、学級数、教職員数、学校施設、卒業後の状況等の基本的事項を調査する。5月1日を調査期日として毎年実施する。 事業概要 事業開始年度 昭和23年度 統計法(平成19年法律第53号)及び学校基本調査規則(昭和27年文部省令第4号) 根拠法令·方針決裁等 基幹統計調查等統計調查費市町村交付金取扱要綱(神奈川県) ①背景・課題の分析 学校に関する基本的事項を明らかにし、教育行政上の基礎資料を得る事を目的として実施する。 本市においては、市内の小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校、幼稚園、幼保連携型認定こども園、専修学校及び各種学校 ②事業目的・効果 の全てを対象とする。 (必要性) 学校数実績及び今後見込(国及び県直轄調査分を除く横浜市調査分) 〈合計〉 3 年度 900校(私立 401、市立 499)、4 年度 897校(私立 399、市立 498)、5 年度見込 897校(私立 399、市立 498) <学校種別内訳> ·小学校 3 年度 350校 (私立 11、市立 339) 、4 年度 348校 (私立 11、市立 337) 、5 年度見込 348校 (私立 11、市立 337) ・中学校 3年度 176校(私立 31、市立 145)、4年度 176校(私立 31、市立 145)、5年度見込 176校(私立 31、市立 145) ・義務教育学校 3年度 2校(私立 0、市立 2)、4年度 3校(私立 0、市立 3)、5年度見込 3校(私立 0、市立 3) 根拠・データ等 ・特別支援学校 3 年度 15校 (私立 2、市立 13) 、4 年度 15校 (私立 2、市立 13) 、5 年度見込 15校(私立 2、市立 13) 幼稚園 3年度 243校 (私立 243、市立 0) 、4年度 238校 (私立 238、市立 0) 、5年度見込 238校 (私立 238、市立 0) ・幼保連携型認定こども園 46校 (私立 46、市立 0)、4年度 49校 (私立 49、市立 0)、5年度見込 49校 (私立 49、市立 0) 3年度 3年度 59校(私立 59、市立 0)、4年度 59校(私立 59、市立 0)、5年度見込 59校(私立 59、市立 0) • 各種学校 3年度 9校(私立 9、市立 0)、4年度 9校(私立 9、市立 0)、5年度見込 9校(私立 9、市立 0) 事業指標 2年度 7年度 年度 3年度 4年度 5年度 6年度 8年度 897 897 単位 目標 896 900 897 897 調査対象 学校数 校 実績 897 900 令和5年4月上旬 調查票配布 令和5年5月1日 事業スケジュール 調査期日 令和5年5月中旬 調査票提出

	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
細事業 (事業内訳)	① 学校基本調査事業	340	340	0	_
	細事業合計	340	340	0	

	課長	係長	係
本資料は、公正・適正に作成しました。	入江 佳久	中村 敬一郎	依田 真莉奈

事業局課	政策 局		紛	計情報	報 課	- 新相州	·本		新規	□ 拡充	5	東 娄 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	TT 主来早	_	
事業区分	□ 施設等整備費	■ そ(■ その他 新規拡充		L ANDE L		L 1/4/L		事業評価書番号						
歳出予算科目	一般 会計 2 款 1 項			2	目	枝	番号	4	2	前年度事	事業名称	-	-		
事業名称	住宅・土地統計調査事業					政策	番号	99	政策指標	-	施策番号	99	施策指標	=	

(単位: 千円)

				1 内 訳			(十四・111)
			財源	一般財源等			
区 分	金額	国	県	諸収入		市債	一般財源
令和5年度	169, 176	0	169, 176	0		0	0
補助事業							0
単独事業							0
令和4年度	0	0	0	0		0	0
増△減	169, 176	0	169, 176	0	0	0	0

	歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
予	事業費					
算	市債+一般財源					
決	事業費					
算	市債+一般財源					

7月

8月

9月 10月

事業スケジュール

局区事務打合せ会

1日 調査期日

調査員事務打合せ会、調査員任命 調査対象住戸の抽出、調査票配布等

令和6年度	令和7年度	令和8年度

住宅・土地統計調査は、総務省所管により実施する基幹統計調査で、住宅及び住宅以外で人が居住する建物に関する実態並びに現住 居以外の住宅及び土地の保有状況その他の住宅等に居住している世帯に関する実態を調査する。 本事業は5年毎に実施し、前回は平成30年度に実施した。 事業概要 昭和23年度 事業開始年度 統計法(平成19年法律第53号)及び住宅・土地統計調査規則(昭和57年総理府令第41号)、 根拠法令·方針決裁等 基幹統計調查等統計調查費市町村交付金取扱要綱(神奈川県) ①背景・課題の分析 ②事業目的・効果(必要性) ②事業日的・効果(必要性) 国や地方公共団体における各種行政施策は、現状を正確に把握し、将来の展望に立って行われる必要がある。そのためには、実態を 表す客観的なデータである統計は不可欠なものである。 そのため、住宅・土地統計調査は、住宅に関する実態並びにこれらに居住している世帯に関する実態を調査し、その原状と推移を全 国及び地域別に明らかにすることにより、住生活諸施策の基礎資料を得ることを目的としている。 ①背景・課題の分析 ②事業目的·効果 ・調査対象 ・両国利象 令和2年国勢調査の調査区の中から総務大臣が指定した約5分の1の調査区において、令和5年2月1日現在で設定した調査単位区 (50住戸前後)の中から選定された住戸(17戸)とその世帯を対象とする。 (必要性) • 調查期日 令和5年10月1日 ·調査対象数 約91,000住戸 (平成30年度調査時実績) 平成25年度実績(調査区数:5,224調査区、調査員数:1,928人、指導員数:355人) 平成30年度実績(調査区数:5,459調査区、調査員数:1,570人、指導員数:111人) 令和5年度推計(調査区数:5,326調査区、調査員数:1,776人、指導員数:356人) 根拠・データ等 事業指標 年度 2年度 3年度 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 単位 目標 5326 調査区数 調査区 実績 単位 日標 1776 調査員数 人 実績 令和5年6月 市町村事務打合せ会 令和5年11月 調査書類審査

(単位:千円)

	_				
	細事業名称	5年度	4年度	差引 (増減)	増減説明
細事業 (事業内訳)	① 住宅・土地統計調査事業	169, 176	0	169, 176	前回調査はH30年度 H30予算 158,881千円
	細事業合計	169, 176	0	169, 176	

12月

調査票提出

	課長	係長	係
本資料は、公正・適正に作成しました。	入江 佳久	中村 敬一郎	矢作 ちづ

事業問題 政策	(様式(2)-1)		ĹĹ.	州り千及	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た可し	四音						
# 東	1 111 111				果 新規拉	☆ □	新規	□ 拡充	ř.	事業評価	書番号	_	
事業名称 漁業センサス事業 政策命号 99 政策相信 一 能策命号 99 極策相信 一 総務信 十 年齢 1 2 <t< td=""><td>* ****</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3"></td><td></td><td></td></t<>	* ****												
Y		一般	(会計 2	款 1 耳	2	目	 校 番 号	4	3	 	·莱名称	_	
区分 金額 財源内訳 一般財源等 今和5年度 1,323 0 1,323 0 <td>事業名称</td> <td></td> <td>漁業センサ</td> <td>ス事業</td> <td></td> <td>政策番号</td> <td>号 99</td> <td>政策指標</td> <td>-</td> <td>施策番号</td> <td>99</td> <td>施策指標</td> <td>-</td>	事業名称		漁業センサ	ス事業		政策番号	号 99	政策指標	-	施策番号	99	施策指標	-
区分 金額 国 講取人 市債 一般財源 令和5年度 1,323 0 1,323 0													千円
令和 5 年度 1,323 0 1,323 0 0 1,323 0 0 1,323 0 0 1,323 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		^ 455		7.5						7.0	足財 源		अस
補助事業 1		金 額	(土)	界	諸収入					巾頂		一般則	
事独事業		1, 323	0	1, 323		0					0		
令和4年度	補助事業												
増入減		0	0	0		0					0		
事業費 第 市債+一般財源 第 市債+一般財源 漁業センサスは、農林水産省所管により実施する基幹統計調査で、漁業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、漁村、水産 流通・加工業等の漁業を取り巻く実態と変化を把握することを目的として実施する。 本事業は5年毎に実施し、前回は平成30年度に実施した。 事業開始年度 昭和24年度 根拠法令・方針決裁等 統計法(平成19年法律第53号)及び漁業センサス規則(昭和38年農林省令第39号)、基幹統計調査等統計調査費市町村交付金取扱要綱(神奈川県) ①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性) 漁業の生産構造、就業構造並びに漁村、水産物流通・加工業等の漁業を取り巻く実態を明らかにするとともに、適置対象 漁業地区に指定された臨海6区(鶴見区、神奈川区、西区、中区、磯子区、金沢区)の漁業経営体 ・調査期日 ・和5年11月1日 ・調査対象数								0					
事業費 第 市債+一般財源	費山 今	和元年度 今	師り任度	今和3年	_		△和 6	在审	△:	和7年度	1	△和 Q 4	丘庇
算 市債+一般財源		和几千及 177	旧五千及	17年6千茂	+		11/11/0	干及	13.2	11 千尺	_	11/11/0-	- /文
算 市債+一般財源 事業概要	算 市債+一般財源												_
事業概要					_								
根拠法令・方針決裁等		本事業は5年毎に実				的とし	(美胞する	5.					
 基幹統計調査等統計調査費市町村交付金取扱要綱(神奈川県) 漁業センサスは、漁業の生産構造、就業構造並びに漁村、水産物流通・加工業等の漁業を取り巻く実態を明らかにするとともに、産行政の推進に必要な基礎資料を整備することを目的とする。 調査対象 漁業地区に指定された臨海6区(鶴見区、神奈川区、西区、中区、磯子区、金沢区)の漁業経営体 令和5年11月1日 調査対象数 	ず未開知千尺	四和24千及											
正行政の推進に必要な基礎資料を整備することを目的とする。	根拠法令・方針決裁等					農林省令	6第39号)	`					
	②事業目的·効果	3備することを目的 (鶴見区、神奈川区	とする。						らかに、	するととも	5に、		

根拠・データ等

平成25年度実績(経営体数:167経営体、客体把握調査員数:5人、実査調査員数:10人) 平成30年度実績(経営体数:155経営体、客体把握調査員数:5人、実査調査員数:9人) 令和5年度推計(経営体数:155経営体、客体把握調査員数:5人、実査調査員数:9人)

							_		
事業指標		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
経営体数	単位	目標	1	1	1	155	-	-	-
任呂平奴	経営体	実績	-	-					
客体把握 調査員数	単位	目標	I	1	I	5	ı	-	l
調査員数	人	実績	1	1					
実査調査員数	単位	目標	-	-	П	9	-		-
大旦则且貝奴	人	実績	-						

事業スケジュール

令和5年8月 客体把握調査員事務打合せ会 10月 実査調査員事務打合せ会 11月 1日 調査期日 12月 調査票回収・提出

	細事業名称	5年度	4年度	差引 (増減)	増減説明
細事業 (事業内訳)	① 漁業センサス事業	1, 323	0		前回調査はH30年度 H30予算 1,321千円
	細事業合計	1, 323	0	1, 323	

	課長	係長	係
本資料は、公正・適正に作成しました。	入江 佳久	中村 敬一郎	仁科 加奈美

事	業局課	政策 局	統計情報 課		新規拉	· 去		新規	□ 拡充	5	車类証益	T 主 采 早			
事	業区分	□ 施設等整備費	■ その他		77 7月7月17	列 / 元 1 / 二		利乃	L 1)/A/L		事業評価書番号				
歳出	1予算科目	一般 会計	2 款 1 項			2	目	枝	番号	4	4	前年度	事業名称	-	-
事	工業名称	国勢調査第2次試験調査事業					政策	番号	99	政策指標	I	施策番号	99	施策指標	-

(<u>単位:千円)</u>

				1 内 訳			(十四・111)
			財源	一般財源等			
区 分	金額	国	県	諸収入		市債	一般財源
令和5年度	1, 915	0	1, 915	0		0	0
補助事業							0
単独事業							0
令和4年度	0	0	0	0		0	0
増△減	1, 915	0	1, 915	0	0	0	0

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予 事業費	1, 727		
算 市債+一般財源			
決 事業費	777		
算 市債+一般財源			

令和6年度	令和7年度	令和8年度

国勢調査は、総務省所管により実施する基幹統計調査で、大正9年(1920年)依頼5年毎に実施しており、令和7年にはその22回目の実施を予定している。本調査に向けて総務省統計局長が指定する市区・調査区において、試験調査(第1次試験調査、第2次試験調査及び第3次試験調査)を実施する。 事業概要 大正9年(国勢調査) 事業開始年度 統計法(平成19年法律第53号)及び国勢調査令(昭和55年政令第98号)、 根拠法令 • 方針決裁等 基幹統計調查等統計調查費市町村交付金取扱要綱 (神奈川県) ①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性) 第2次試験調査の実施にあたっては、令和2年国勢調査での課題等について第1次試験調査の実施状況を踏まえ、調査をより円滑に 実施するための工夫や調査方法の改善等、実地に検証を行い、令和7年調査設計の基礎とする。 ①背景・課題の分析 ②事業目的·効果 (必要性) ・調査の地域 ・調査時期 ・調査時期 令和5年6月 平成30年度実績(全国) ・調査の市区…7都道府県8市区 ・1市区あたりの調査区数…12調査区 ・調査員数…6人(1人2調査区担当) 根拠・データ等 令和5年度予定 ・横浜市における調査対象…1区・調査区数…12調査区 調査員数…6人(1人2調査区担当) 事業指標 年度 2年度 3年度 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 単位 目標 12 調查区数 調査区 実績 単位 6 日標 調査員数 人 実績 令和5年5月 調査員事務打合せ会 6月 調査書類の配布 事業スケジュール 7月 調査票の回収、督促 8月 調査書類の審査、整理、提出

		細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
細事業 (事業内訳)	1	国勢調査第2次試験調査事業	1, 915	0	1,915	前回調査はR1年度 R1予算 1,727千円
		細事業合計	1, 915	0	1, 915	

	課長		係長				係
本資料は、公正・適正に作成しました。		入江 佳久	ı	中村 敬一郎	矢作	ちづ	